

2003 年度 委員会活動成果報告

(0 4 年 3 月 3 1 日作成)

委員会名	オープンビルディングの産業化小委員会	主 査 名：石塚 克彦
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画本委員会	委員長名：服部 岑生
設 置 期 間	2 0 0 0 年 4 月 ~ 2 0 0 4 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	オープンビルディングの推進及び産業化並びに事例研究 2000年度。新産業創出のためのモデルの立案他 2001年度。「住宅用インフィル」の調査 2002年度。「住宅用サポート」「住宅用インフィル産業」の研究 2003年度。「新産業創出効果」の研究	
委員構成 (委員名(所属))	石塚克彦(東日本住宅評価センター)小畑晴治(都市公団)松村秀一(東大) 石山修武(早大)大野隆司(東京工芸大)忍裕司(竹中)鎌田一夫(東ガス) 澤田誠二(明大)成田一郎(大成)難波和彦(東大)范悦(大木)深尾精一(都立大) 南一誠(郵政公社)守屋弓男(MIA)横河鉄弥(横河B)	
設置WG (WG名:目的)	インフィルシステム開発WG	
2003年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会開催 1回/月 その他の主な活動 2000年 OBT2000 共催 2002年大会計画委員会協議会(コンバージョン) 2003年大会計画委員会PD(これからの都市とコンバージョン)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 小委員会メンバーが中心となり 科研費「民間活力による『楽隠居空間』群の創出」に関する研究及び 革新的技術開発研究推進費補助金「建物のコンバージョンによる都市空間有効活用技術の開発研究」 の研究を推進しその成果とともに多くの機会に発表を行った。 は 2001 年度に千葉寺団地で 2 モデルを作る学会でシンポジウムを行った。 2002 年度には都市公団研究所(八王子)にモデルを作り現在に至る。 は大会その他で発表し新しい建築のジャンルの創出に寄与した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 小委員会の活動は上記の研究の各々の舵取りと整合性をまとめることに注力し、各研究を終えることが出来た。
その他評価すべき事項	これらの研究を通じて新たな研究課題として「用途の研究」の必要を実感し次の小委員会(オープンビルディング小委員会)に引き継ぐことを依頼した。